

## 1. 略歴

- 1995年3月 日本女子大学文学部史学科卒業  
1995年4月 東京大学文学部歴史文化学科研究生入学  
1996年3月 東京大学文学部歴史文化学科研究生修了  
1996年4月 東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻（日本史学）修士課程入学  
1999年3月 東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻（日本史学）修士課程修了  
1999年4月 東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻（日本史学）博士課程進学  
2003年3月 東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻（日本史学）博士課程単位取得退学  
2003年4月 日本学術振興会特別研究員（PD）～2005年3月  
2005年4月 立命館大学文学部任期制講師～2008年3月  
2006年6月 博士（文学）学位取得  
2008年4月 立命館大学文学部准教授  
2016年4月 東京大学大学院人文社会系研究科 准教授

## 2. 主な研究活動

### a 専門分野

日本中世史

### b 研究課題

13～16世紀における日本中世の都市社会構造、中世身分制

### c 主要業績

#### (1) 著書

『比叡山と室町幕府一寺社と武家の京都支配一』東京大学出版会、2011年9月

『京都 天神をまつる人びとと一ずいきみこしと西之京一』（写真・西村豊）岩波書店、2014年9月、担当63-116頁

『京都の歴史を歩く』（小林丈広氏・高木博志氏と共著）岩波書店、2016年1月、担当47-79頁、119-155頁、203-218頁

#### (2) 論文

「一遍聖絵成立の背景」『遙かなる中世』18号、2000年3月、47-59頁

「南北朝期における山門・祇園社の本末関係と京都支配」『史学雑誌』第110編第1号、2001年1月、69-99頁

「南北朝期京都における領域確定の構造—祇園社を例として—」『日本史研究』469号、2001年9月、1-34頁

「中世京都の犬神人」『年報都市史研究』10号、2002年10月、11-22頁

「中世犬神人の存在形態」『部落問題研究』162輯、2002年10月、2-34頁

「戦国期北野社の闕所」勝俣鎮夫編『寺院・検断・徳政—戦国期の寺院史料を読む—』山川出版社、2004年9月、63-94頁

「北野祭と室町幕府」五味文彦・菊地大樹編『中世の寺院と都市・権力』山川出版社、2007年4月、159-193頁

「神人」吉田伸之編『身分的周縁と近世社会6 寺社をささえる人びと』吉川弘文館、2007年5月、45-77頁

「中世寺社の公人について」『部落問題研究』181号、2007年6月、37-60頁

「中世後期の身分制論」『室町・戦国期研究を読みなおす』思文閣出版、2007年10月、239-265頁

「秀吉の京都改造と北野社」『立命館文学』605号、2008年3月、110-126頁

「中世における山門集会の特質とその変遷」村井章介編『人のつながりの中世』山川出版社、2008年11月、100-140頁

「中世における社会集団の編成原理—大山喬平氏の中世社会論を検討する—」『部落問題研究』189号、2009年6月、33-48頁

「室町幕府の京都支配」『歴史学研究』859号、2009年10月、59-68頁

「豊臣秀吉の京都改造と『西京』」吉田伸之・伊藤毅編『伝統都市1 アイデア』東京大学出版会、2010年5月、109-130頁

「天正・文禄の大地震と京都改造」『年報都市史研究』20号、2013年3月、79-94頁

「近世における北野社門前の社会構造—芸能・茶屋興行を中心に—」鈴木則子編『歴史における周縁と共生—女性・穢れ・衛生—』思文閣出版、2014年3月、161-197頁  
「中世の身分と社会集団」『岩波講座日本歴史 第7巻・中世2』岩波書店、2014年4月、183-216頁  
「中世後期の宗教的結合と都市社会」『歴史評論』770号、2014年6月、71-87頁  
「『町』共同体をめぐって」『歴史科学』218号、2014年11月、29-37頁

### (3) 書評・研究動向・小論等

「書評と紹介 武田佐知子編『一遍聖絵を読み解く—動き出す静止画像—』」『古文書研究』51号、2000年4月、114-116頁  
「書評と紹介 今井雅晴著『一遍と中世の時衆』」『日本歴史』636号、2001年5月、114-116頁  
「新刊紹介 湯之上隆著『日本中世の政治権力と仏教』」『史学雑誌』第110編第9号、2001年9月、92-94頁  
「新刊紹介 小西瑞恵著『中世都市共同体の研究』」『年報都市史研究』9号、2001年10月、137頁  
「山下有美報告コメント」『歴史評論』623号、2002年3月、110-113頁  
「書評 下坂守著『中世寺院社会の研究』」『史学雑誌』第111編第12号、2002年12月、74-85頁  
「書評 仁木宏監修/和泉市史編さん委員会編集『和泉市史紀要』第3・5・6集」『史学雑誌』第112編第3号、2003年3月、吉田ゆり子・金行信輔と共著、担当部分82-87頁  
「新刊紹介 河音能平著『大阪の中世前期』」『史学雑誌』第112編第9号、2003年9月、107-108頁  
「書評 脇田晴子著『日本中世被差別民の研究』」『部落問題研究』166輯、2003年12月、57-64頁  
「書評 河内将芳著『中世京都の都市と宗教』」『史学雑誌』第116編第6号、2007年6月、65-75頁  
「書評 大村拓生著『中世京都首都論』」『歴史評論』690号、2007年10月、93-98頁  
「立命館大学文学部日本史の高大連携—「アカデミック・プログラム」の実践を通じて」『歴史と地理』632号、2010年3月、山崎有恒と共著、1-6頁  
「中世都市の特質」『年報都市史研究』18号、2011年3月、42-45頁  
「清水坂の風景—非人と酒屋—」『鴨東通信』84号、2011年12月、1頁  
「新刊紹介 下坂守著『京を支配する山法師たち』」『史学雑誌』第121編第1号、2012年1月、130-132頁  
「書評 杉森哲也著『近世京都の都市と社会』」『史学雑誌』第121編第2号、2012年3月、98-106頁  
「東京大学文学部所蔵『本覚大師事書』の翻刻と紹介」『東京大学日本史学研究室紀要別冊 中世政治社会論叢』、2013年3月、231-243頁  
「回顧と展望—2012年の歴史学界— 日本中世」(分担執筆)『史学雑誌』第122編第5号、2013年5月、91-94頁  
「比叡山延暦寺」『週刊 新発見!日本の歴史23 室町時代2』朝日新聞出版、2013年12月、18-19頁  
「ワークショップ『大山喬平氏の中世社会史論に学ぶ』参加記」『年報都市史研究』21号、2014年3月、165-167頁  
「日本中世都市史研究の20年」『都市史研究』1号、2014年11月、111-117頁  
「足利尊氏御判御教書」『歴史読本』60巻2号、2015年2月、212-215頁

### (4) 学会報告

史学会第97回大会日本中世史部会報告「中世後期京都における祇園社の土地所有形態」1999年11月、東京大学  
日本古文書学会第34回大会報告「集会所書発給にみる山門大衆の権力行使」2001年10月、大谷大学  
都市史研究会2001年度シンポジウム報告「中世京都の犬神人」2001年11月、大阪市立大学  
第44回部落問題研究者全国集会報告「中世寺社の公人について」2006年10月、同志社女子大学  
第46回部落問題研究者全国集会報告「中世における社会集団の編成原理—大山喬平氏の中世社会論を検討する—」  
2008年10月、同志社女子大学  
歴史学研究会2009年度大会中世史部会報告「室町幕府の京都支配」2009年5月、中央大学  
都市史研究会2011年度シンポジウム報告「天正・慶長の大地震と京都改造」2011年12月、東京大学  
歴史科学協議会2013年度大会報告「中世後期の宗教的結合と都市社会」2013年11月、仏教大学  
都市史学会設立総会シンポジウム報告「日本中世都市史研究の20年—回顧と展望—」2013年12月、東京大学

## 3. 主な社会活動

### (1) 学会活動等

2006年11月～2008年10月 日本史研究会編集委員  
2008年10月～現在 日本古文書学会評議員  
2013年12月～現在 都市史学会事務局委員  
2014年11月～現在 賀茂別雷神社史料編纂会編纂委員